

年頭の挨拶



東北運輸局 岩手運輸支局
支局長 武部 勝彦

あけましておめでとうございます。

平成29年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

高橋会長はじめ公益社団法人岩手県トラック協会会員の皆様には、日頃から国土交通行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、輸送秩序確立、事故防止、環境保全活動に積極的に取り組み、公益性を持った活動を展開され、地域社会への貢献と業界の発展に尽力されておりますことに、改めて敬意を表する次第であります。

さて、岩手県の経済情勢は、雇用情勢は引き続き改善しているものの、個人消費と生産活動に足踏みが見られるとなっておりますが、一般貨物運送事業者数及び車両数は平成28年10月現在で799者14,996両となっており、事業者数及び車両数とも震災以降、増加傾向は続いており、復興の原動力となる物流の中心事業として重要な役割を担っていると思量するところです。

しかしながら、トラック業界を取り巻く環境は、燃料価格は一時期に比べれば低い水準で推移しているところですが、労働力不足が深刻な課題となっており、特にドライバーの不足は労働環境の問題にも関連し、大きな問題となっているほか、経営支出に関しては安全・環境対策等にかかるコストの増加への対応など、依然として厳しい状況が続いていると認識しております。

昨年3月に山陽自動車道で多重衝突事故が発生し、原因の1つである長時間運転が常態化していたことがわかりました。国土交通省では、長時間労働抑制実現に向けた「トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会」を中央及び各県に設置し、改善に向けた取組を進めてはおりますが、皆様におかれましては、事業の根幹であります「輸送の安全」がおろそかにならないよう、一人ひとりの安全意識の高揚に努め、引き続き、安全確保と事故防止にご尽力くださいますようお願い申し上げます。

岩手県トラック協会として平成28年は「死者数と飲酒運転ゼロ」を目標に実施したところですが、岩手運輸支局といたしましても、「事業用自動車総合安全プラン2009」の取組を、関係団体との連携強化を図り、事業用自動車の安全対策の取組を強化し、より一層の安全確保が図られるように取り組んでいるところです。

今後も、「輸送の安全・安心の確保」を実現するため、「トラック輸送における取引環境・労働時間改善岩手県協議会」における労働環境改善の取組を進めるとともに、安全対策や事故防止、環境対策、ドライバー不足対策などの各種施策についても、貴協会をはじめ、関係機関・関係団体との連携を強化しながら、積極的に取り組んで参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、公益社団法人岩手県トラック協会と会員皆様方の益々のご繁栄とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。